



令和7年度 学校だより

城南っ子

〔学校教育目標〕

自律的に学び、認め合い、
ともに成長しようとする児童の育成



那覇市立城南小学校

令和7年6月4日

第14号

文責：校長 田島正敏

お話長会（校長講話）

あいさつをしているのは人間だけではない

たがいがかおを向け合って「ホウ、ホウ、ホウ」と言い合う
その姿に、人間という「あく子」のように、おたがいの
声と息をくっつける

必ず毎朝行われます。特に、「ホウ、
ホウ、ホウ」のあいさつは重要で、
年下のチンパンジーがこれを忘れた
りすると、仲間に入れてもらえない
こともある



チンパンジーにとっては、「あいさつ」は、
仲良しになるための「しるし」であり、みん
なで生活するための「約束事」でもある

「あいさつ」できていますか？



サッカーの 福田健二選手

Jリーグの名古屋グランパスエイトを
はじめ海外リーグでも活躍した選手で、
**パラグアイ、メキシコ、スペイン、
ギリシャ**等の国々でプレーしました。
福田選手は様々な国を回る中で気づ
いたことは
**「すべての国で大事だったこと、それは
あいさつです」と**言っています。

いまにも

たおれてきそうな

へいがあります



租税教室を終えて 6年生

先月行われました租税教室を受
けて、6年生が学習をまとめたカ
ードを作成していますので紹介し
ます。身近なところに税金が使わ
れ私たちの生活を支えてしてくれ
ているのですね。



4日(水)に校長講話を行いました。
講話のテーマは『あいさつ』です。こちらから挨拶をすると、ほと
んどの子が挨拶を返してくれます。中には、ほんの一握りですが、
会釈だけの子や何の反応もなく通り過ぎていく子もいます。
犬や猫をはじめ、いろいろな動物が挨拶をしていること、最初か
ら挨拶は上手にできるのではなく、練習できるようになっていく
ことをお話ししました。また、立哨や読み聞かせ、さらには登下
校中にすれ違う地域の方にも挨拶ができてほしいという話もしまし
た。

挨拶と言えば、Jリーグの名古屋グランパスエイトをはじめ海
外リーグでも活躍したサッカーの福田健二選手の話が印象的でし
たので紹介します。福田選手は、パラグアイ、メキシコ、スペ
イン、ギリシャ等の国々のクラブチームでプレーし、様々な国を周
る中で気づいたことは、「**すべての国で大事だったこと、それは
あいさつです**」と言っています。

最後に（今はなくなってしまったのですが）十円堂の向いの塀
が傾いて危ない状態になっています。子どもたちに避けて通るよ
うに呼びかけました。皆さんも通るときに気をつけてくださいね。

挨拶の大切さを理解し、自分から先に挨拶ができる城南っ子が
増えると素敵ですね。

読み聞かせ、ありがとうございます。

毎週火曜日の朝は読み聞かせの時間です。毎週多くの方に関わっ
ていただきありがとうございます。私も子どもが小学生の頃、何度
か読み聞かせに城南小学校を訪れたことがあります。

読み聞かせの本を何にするか迷ってしまい躊躇される方もいると
思いますが、本でなくても体験談や作り話、旅行記やクイズをやる
方もいます。10分程度で子どもたちに楽しい思いをさせていただ
けたらと思います。

